

×医療 テラス

半月板損傷の 治療法教えて

50代男性。転んだのがきっかけで膝が痛くなり、受診したところ半月板損傷といわれました。膝が固まって動かなくなることもあり、痛みも治まりません。治療法を教えてください。

回答者

国立病院機構甲府病院整形外科
萩野 哲男 医師



はぎの・てつおさん 1987年山梨医科大(現山梨大医学部)卒。同大学医学部付属病院などを経て、97年より国立病院機構甲府病院。同病院外科系診療部長。山梨大医学部臨床教授。日本体育協会公認スポーツドクター。日本整形外科学会専門医。

ツなどが原因で切れている場合には損傷した部分を縫合することもあります。いずれも切開箇所は2力所で7〜8ミリと小さく、手術による患者さんの負担は少ないです。

わってひねったり、転倒したりすることで損傷する場合と、スポーツなどをしたときに靭帯損傷などと合併して起こる場合と

があります。一般的に、加齢に伴う変性によるものは40〜50代の中高年に多く、膝の内側の半月板を損傷するケースが多く、

つたり、急に膝が動かなくなる「ロッキング」という状態になったりし、歩けないほどの痛みが出ます。

ことを目標にします。縫合の場合には若い患者さんのケースが多く、合併して起こっている靭帯損傷の治療も行うため、全体重をかけるまでには1カ月以上かかります。

痛みは取れますか。多くの場合は症状が改善します。ただ、半月板を切除すると関節表面の軟骨を痛めやすくなります。年齢が高くなると、半月板の周りには軟骨の表面自体も痛んでいることが多く、痛みがなかなか取れない場合もあります。

薬、装具使い改善図る 内視鏡で縫合か切除も

原因は、加齢により変性し、体重が増える。

スポーツが原因のものは10〜20代の若い人に多くみられます。

治療法は、まずは、週1回のヒアルロン酸注射や抗炎症薬の服用、サポーターなどの装具の使用、リハビリテーションによる筋力強化などの保存療法を行います。

2カ月ほど様子を見て、改善が見られない場合は手術を行います。ただ、すでにロッキングなどの症状が出ている場合は、手術を勧めることもあります。

半月板損傷の内視鏡手術の様子
—国立病院機構甲府病院スポーツ・膝疾患治療センター

ただ、生まれつき半月板が丸い形をした「凹板状」の場合には若い人でも大きなけががなくとも、損傷するケースもあります。

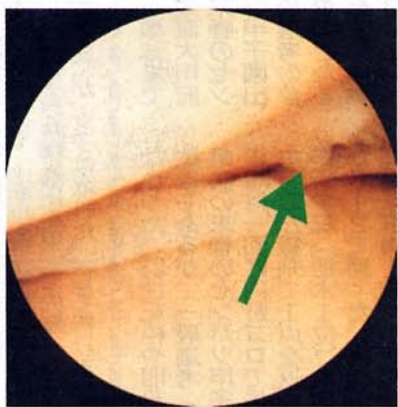
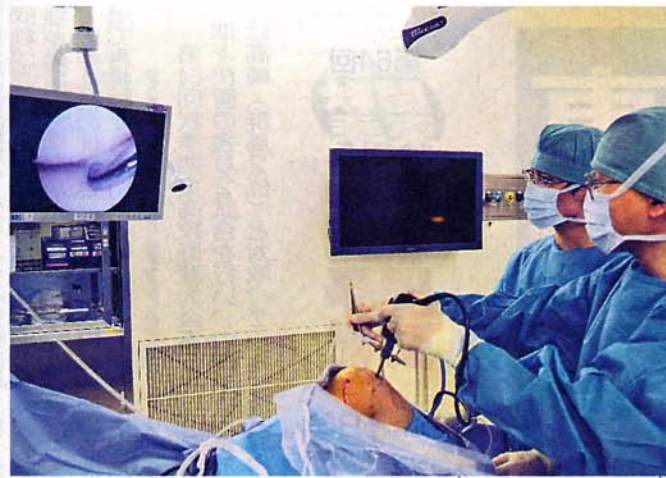
症状を1〜2カ月ほど様子を見て、改善が見られない場合は手術を行います。ただ、すでにロッキングなどの症状が出ている場合は、手術を勧めることもあります。

軟骨が減ってしまった人には、人工関節置換術も選択します。



◆ 当院では、スポーツ・膝疾患治療センターで一般の患者さんからスポーツ選手まで、膝関節疾患の治療を積極的に行っています。昨年度の内視鏡の手術件数は499例で、半月板切除術は146例、半月板縫合術は41例、膝靭帯再建術は101例に上ります。

第1、3木曜日に掲載します



断裂した半月板(矢印の部分)

手術は内視鏡を使い、損傷した半月板を取り除く切除法と、縫い合わせる縫合術があります。変性による損傷の場合はその部分を切除しますが、スポー

手術は内視鏡を使い、損傷した半月板を取り除く切除法と、縫い合わせる縫合術があります。変性による損傷の場合はその部分を切除しますが、スポー